

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

中村 裕之

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに全ての原発を廃炉にする。
- 安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

日本は現在 貿易立国です。カーボネキミーの効率向上がなるとは、原発を廃止するより火力発電が主となるでしょう。化石燃料の輸入により貿易赤字を計上し、財政貿易の双方の赤字により、日本経済は借財を払い、大ダメージを受け国民生活を圧迫すると思いますので、直ちに廃炉には反対です。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに廃炉にする。
- 道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

安全確認が肝要と考えます。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

稼働中の原発については建設を中止し、その建設予定費用をカーボネキミーの効率向上や北海道をはじめ、日本近海に多くある、LNGパイプラインの採掘方向の調査等に充てるべきと考えます。

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

中村裕之

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・断固として認められない。
- 慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

国内には、ある一定量の放射性廃棄物が存在いたします。それらを国内で処理することは、当然の事であると言わざるをえません。しかしながら、むしろ、核燃料サイクルについては、プルトウムの問題が大きくかわる為、懸念しております。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いておりますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- 知っている。
- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

市民一人一人の方が意志を表明し、行動する事は素晴らしい事と考えます。
 本原発・脱原発色々考え方はあると思います。国民のみな様の意志を、政治に反映させるのが、政治家の役割です。国民本権に則りみな様の声を聞いてゆきたいと考えます。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- ・機会があれば参加したい
- 考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。

自由民主党北海道第四選挙区支部 支部長 中村裕之